

自治医科大学附属病院血液科の診療を受けた患者さんおよびそのご家族の方へ

【研究課題】 固形腫瘍既往が同種移植成績に与える影響の解明

1. 対象となる方

2010 年から 2022 年までに、初回の同種移植を受けた 16 歳以上の方のうち、非黒色腫皮膚がんを除く固形腫瘍の既往がある方が対象となります。

2. 研究目的・意義

近年、固形腫瘍既往歴を有する同種造血幹細胞移植患者は増加傾向にあります。主な理由として、移植技術の進歩によってより高齢な患者まで移植対象となっていること、そして固形腫瘍の治療成績が向上しており、がんを克服された方（がんサバイバー）が増加していることが挙げられます。また、日本では、胃がん、子宮頸がん、食道がんの頻度が高く、予後（がん治療後の生存状況や健康状態）も比較的良好な傾向があります。これは早期に診断、治療（特に胃がんや食道がんでは内視鏡的切除）ができている可能性が示唆されます。したがって、固形腫瘍既往歴を有する同種造血幹細胞移植患者さんの移植成績について、国内で調査を行うことは、非常に意義が高いと考えます。

固形腫瘍既往歴を有する同種造血幹細胞移植患者さんにおける固形腫瘍の転帰および移植成績を多施設・後方視的に解析し、これらの患者群の治療と転帰について明らかにすることを目的とします。

3. 研究方法・研究に用いる試料・情報の種類

2010 年から 2022 年の間に、「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」の TRUMP（移植登録一元管理プログラム）に登録された患者さんのうち KSGCT（関東造血幹細胞移植共同研究グループ）所属施設で同種移植を施行された患者さんを調査対象とします。取得したデータを、固形腫瘍既往あり群となし群で比較検討し、単変量および多変量解析を行うことにより、固形腫瘍既往が同種移植成績に与える影響を明らかにします。

4. 研究期間

年 月 日 から 2026 年 12 月 31 日まで

5. 個人情報等の取り扱い、外部への試料・情報の提供

KSGCT へは、個人が特定できないよう匿名化した調査票のみを郵送にて提供します。症例識別番号と各患者との対応表は、内科学講座血液学部門医局の、鍵のかかるキャビネットにて保管します。

6. 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学医学部血液内科

研究代表者

片岡圭亮

共同研究機関

関東造血幹細胞移植共同研究グループ(KSGCT)

研究責任者

群馬大学医学部附属病院 血液内科

半田 寛

群馬県済生会前橋病院 白血病治療センター

高田 寛

獨協医科大学病院 血液・腫瘍内科

三谷 絹子

自治医科大学附属病院 血液科

神田 善伸

東京医科大学附属病院 血液内科

後藤 守孝

東京女子医科大学病院 血液内科

篠原 明仁

日本赤十字社医療センター 血液内科

塚田 信弘

東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科

矢野 真吾

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科

高橋 聡

NTT東日本関東病院 血液内科

臼杵 憲祐

国立がん研究センター中央病院 造血細胞移植チーム

福田 隆浩

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 血液内科

内田 直之

がん・感染症センター 都立駒込病院 血液内科

土岐 典子

日本大学医学部附属板橋病院 血液・膠原病内科

八田 善弘

東京医科歯科大学病院 血液内科

森 毅彦

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科

川井 信孝

千葉大学医学部附属病院 血液内科

堺田 恵美子

千葉市立青葉病院 血液内科

鐘野 勝洋

横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科

藤澤 信

神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科

田中 正嗣

横浜市立大学附属病院 リウマチ・血液・感染症内科

中島 秀明

東海大学医学部附属病院 血液腫瘍内科

鬼塚 真仁

成田赤十字病院 血液腫瘍科

青墳 信之

国際医療福祉大学成田病院 血液内科

中世古 知昭

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科

神田 善伸

埼玉医科大学総合医療センター 血液内科

木村 勇太

静岡赤十字病院 血液内科

田口 淳

学内研究体制

自治医科大学内科学講座血液学部門	教授	神田善伸
自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部	教授	藤原慎一郎
自治医科大学内科学講座血液学部門	准教授	大嶺謙
自治医科大学内科学講座血液学部門	講師	佐藤一也
自治医科大学内科学講座血液学部門	講師	畑野かおる
自治医科大学内科学講座血液学部門	講師	山本千裕
自治医科大学内科学講座血液学部門	学内講師	蘆澤正弘
自治医科大学内科学講座血液学部門	助教	森田薫
自治医科大学内科学講座血液学部門	助教	皆方大佑
自治医科大学内科学講座血液学部門	病院助教	海野健斗
自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部	病院助教	永山隆史
自治医科大学内科学講座血液学部門	臨床助教	戸田由美子
自治医科大学内科学講座血液学部門	臨床助教	中島広大
自治医科大学内科学講座血液学部門	臨床助教	村橋類
自治医科大学内科学講座血液学部門	臨床助教	小山竣介

7. 対象になることを望まない場合の申し出 及び お問い合わせ先

① 対象になることを望まない場合

この研究のためにご自分の（試料や）情報を使用してほしくない方は、下記の「照会先」に記載されている研究責任者（または連絡担当者）までご連絡ください。対象から外させていただきます。

ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が行われていた場合や研究成果が学会・論文などで公表されていた場合は、対象から外すことはできませんので、ご了承ください。

なお、お断りになった場合でも、患者さん（やご家族）に将来にわたって不利益が生じることは一切ありません。

② お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の【照会先】までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、本研究に関して苦情がありましたら【苦情の窓口】に平日の8時30分から17時までにご連絡をお願いします。

【照会先】

研究責任者：自治医科大学内科学講座血液学部門 教授 神田善伸

所在地：栃木県下野市薬師寺 3311-1

電話番号：0285-58-7353

【苦情の窓口】

自治医科大学附属病院 臨床研究センター管理部

電話 0285-58-8933